

3 成果と課題

(1) 成果

- ・佐賀県教育センターにおける養護教諭研修体系について、キャリアステージに応じて求められる資質や能力を明確にし、それらを高めていく研修内容を検討し、研修体系を再構築することができました。このことは、養護教諭が自分の将来を展望できることにつながったと考えられます。また、養護教諭が常に学び続ける場を設定し、支援を行う教育センターとしての役割が県内養護教諭に提示できたと考えます。
- ・受講者のニーズに沿った経年研修や専門講座を再構築することができました。
- ・協議や演習及びメンター制度の考え方を取り入れた研修は、受講者自身が課題に対して具体的な解決方法を見出しやすく、また、受講者同士が学びのネットワークを広げられることから、受講者の参加意欲や実践意欲の高まりに効果的だったと考えます。

(2) 課題

- ・受講者が、健康課題解決を図るための知識・技能を高め、理解を深めるために、主体的に学ぶことができる研修プログラムの開発を行う必要があります。
- ・専門研修の在り方を見直し、健康課題解決力を高める講座の開講やマネジメント力獲得に関連するセンター講座への参加など、充実期（11～20年）・貢献期（21年以上）の養護教諭の資質向上も急務と考えられます。
- ・メンター制度の考え方を取り入れ、先輩養護教諭の学校で、実践期（1～10年）の養護教諭を対象としたワンポイントセミナーを実施する取組が必要だと考えます。また、各地区で実践期の養護教諭を育成するシステムに取組の工夫を図る必要があります。